

公共交通網整備事業

[446]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0101	実施計画	対象
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	公共交通による移動手段の確保	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	公共交通利用者(市民)、バス事業者、鉄道事業者	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>既存の公共交通網の整備・拡充を図る。利用者アンケートの実施や地域公共交通会議の開催などにより、利用しやすい公共交通を目指す。鉄道事業者連携し鉄道駅のバリアフリー化を目指す。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><取組み概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 市営バス：平成16年12月試験運行開始。平成20年4月より条例施行。平成28年4月運行内容変更。 既存の交通網維持のため、バス及び鉄道事業者等に各種の要請を行う。 <ul style="list-style-type: none"> バス事業者からの撤退及び公的補助の申し出への対応 必要に応じて、鉄道事業者に要請 平成30年5月旭前駅バリアフリー化整備実施 印場駅バリアフリー化に向けた検討・協議

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	地域公共交通会議の開催回数	回	2	2	3	2
	モニタリング結果「B」の割合	%			0	0
成果指標	市営バスの利用者数	人	229,849	236,096	240,000	241,878
	公共交通運行本数(民間事業者)	本	505	505	505	503
事業費 計			152,149	64,003	55,106	54,390
財源内訳		ア 国	5,440	5,760		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	24,357	1,289	1,606	1,708
		オ 一般	122,352	56,954	53,500	52,682

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況)市営バスの利用者数は昨年度実績に比べ2.4%向上したが、公共交通運行本数(民間事業者)は昨年度実績と同様であった。</p> <p>(原因)令和元年10月に利用実態に即したダイヤ改正を実施したことにより遅延運行が減少したこと及び改正内容が利用者に浸透したことが市営バス利用者増加につながった。一方で、2月3月は新型コロナウイルスの影響に伴い、対前年比で2割程度利用者が減少したため、年間利用者も対前年比で微増にとどまった。</p>
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	印場駅のバリアフリー化整備に向けて、鉄道事業者との協議及び設計を行います。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	<p>・印場駅バリアフリー化については、今年度検討委託を実施し、自由通路北側のエレベーター整備は、名古屋市山の手通線整備後が望ましいこと、また地元との意見交換会、子育て世代や車いす利用者からの意見聴取の結果、やれるところからの先行整備が望まれていることから、段階的に整備を実施していく方向性が概ね決定した。</p>		

自転車等駐車場維持管理事業

[447]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0201	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	駅・駅周辺施設の整備	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 自転車等駐車場	市内4駅及びバス停周辺に整備された自転車等駐車場(28箇所) ・整理員13人を1日2時間配置 ・自転車等駐車場内の草刈を委託 ・長期間放置してある自転車を撤去する ・撤去した自転車の保管に関しては、告示後6ヶ月管理・保管する。その後、リユースや再資源化を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
駅周辺における自転車等駐車場の整備及び整理員を配置することにより、自転車の路上放置がなくなっている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	自転車等駐車場利用台数	台/日	3,365	3,292	3,100	3,310	
	市が撤去する自転車台数	台	389	388	450	345	
成果指標	自転車駐輪場の維持管理・利用に関するトラブル件数	件			0	0	
事業費 計			7,064	6,974	7,178	7,038	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		211	164	93	138
		オ 一般		6,853	6,810	7,085	6,900

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	駐輪場の利用状況を確認し、低利用箇所の有効活用を図ります。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	駐輪場の利用状況を確認し市HPに掲載した。また、尾張旭駅第4自転車駐車場の移設に伴い、コーン・パーや啓発看板を設置し、利用者に対し誘導を実施した。		

三郷駅周辺まちづくり事業

[448]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0202	実施計画	対象
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	駅・駅周辺施設の整備	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	駅利用者 駅周辺住民	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 ○現行の計画地(昭和38年都市計画決定)の位置等を再検討し、市の表玄関にふさわしい規模、施設水準の駅前広場を整備するとともに住民主体のまちづくりを進める。 <取組み経緯・概要> H21・22 三郷駅前広場の整備を目的としたワークショップを開催し意見を集約 H23・24 まちづくりに対する活動と駅前広場の実現に向けた検討 H25 地権者主体の三郷駅周辺まちづくり協議会設立 H26 地域住民主体のまちづくり基本構想作成 H27 三郷駅周辺まちづくり基本計画作成 H28 実態調査、環境評価、交通量調査を実施 H29 現地測量、建物調査、地権者ヒアリング、用地取得事務を実施 H30 関係機関協議、概略施設計画案の作成、用地取得事務を実施 H31 関係機関協議、公共施設等検討 R1 事業計画の検討、再開発準備組合設立
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	三郷駅前広場整備率	%	0	0	0	0
成果指標	バス停から三郷駅までの移動に要する時間	分	3	3	3	3
	三郷駅および駅周辺の整備や利便性について満足している市民の割合	%	68	63.8	76	66.3
事業費 計			15,390	21,394	15,000	13,530
財源内訳		ア 国	2,800	4,200		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	12,590	17,194	15,000	13,530

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況)成果指標Cは、前年度に比べ変化なし。成果指標Dは、前年度に比べ2.5ポイント増加している。 (原因)地権者との合意形成及び関係機関協議に時間を要し、駅周辺整備が事業化されていないため、成果指標は若干上昇しているものの誤差の範囲と考えられる。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	地権者の合意形成を図り、平成31年度の都市計画決定を目標に検討を進めます。導入する公共施設について、庁内プロジェクトチームを設置して検討を進めます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

関係機関協議及び地権者の合意形成に時間を要し、都市計画決定の目標時期を遅らせたものの、地域住民による「三郷駅前地区市街地再開発準備組合」を設立し、都市計画決定に向けた検討を実施。庁内プロジェクトチームを設置し、導入する公共施設について方針をまとめた。

幹線道路補修事業

[990]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0402	実施計画	対象
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	幹線道路整備の推進	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	幹線道路 幹線道路利用者	H18 幹線道路補修計画策定 (対象路線:63本、道路延長:64.4km) 対象路線:1・2級市道及び1・2級市道を結ぶ比較的交通量の多い路線
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H19~ H22 幹線道路補修工事の実施 路面劣化状況、交通量等により、幹線道路補修計画を見直す。 (対象路線:63本、道路延長:67.2km、車線延長:123.5km) H27 路面劣化状況、交通量等により、幹線道路補修計画を見直す。 (対象路線:63本、道路延長:67.2km) H28~ 幹線道路補修工事の実施 ・道路パトロール等により、必要に応じて補修計画を変更する。 ・国土省と同様に5年毎に計画を見直す。
	道路の舗装面に亀裂やたわみ等がなく、 利用者が安心して安全に通行できるよう になっている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	舗装補修必要路線数	本	39	39	39	39
	舗装補修必要延長	km	18.4	18.4	18.4	18.4
成果指標	舗装補修延長	m	2,659	1,839	350	330
	舗装補修率	%	16.8	26.8	28.8	28.5
事業費 計			126,996	122,984	15,000	14,961
財源内訳		ア 国	32,174	44,000	5,470	5,470
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	94,822	78,984	9,530	9,491

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が大きい	(状況) 舗装補修率は昨年度実績と比べ1.7p向上している。 (原因) R1の全国植樹祭が終わり事業費が大きく減少したため、対前年度のポイントが大きく低下した。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

歩道バリアフリー推進事業

[432]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0302	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	歩道 歩道を通行する道路利用者	【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 平成14年度 交差点部における歩道と車道の段差状況の調査 段差解消の必要な箇所を選定(395箇所) 整備方針(整備の手法)を策定 平成25年度 交差点部だけでなく、歩道全てを段差解消の対象とする 歩道の段差を解消する工事を実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<参考> 平成16年度 市道巡検道線、卓ヶ洞1、2号線等を実施 平成17年度 市道巡検道線、瀬戸新居線を実施 あんしん歩行エリア内による整備着手 平成18年度 市道瀬戸新居線などを実施 平成19年度~ 市道巡検道線他歩道改良実施
	歩道の段差を解消し、誰もが安心して安全に歩道を通行できるようになっている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	段差解消工事の実施箇所数	箇所	12	26	7	6
成果指標	段差解消を施工した累計箇所数	箇所	329	355	362	361
事業費 計			1,998	1,998	2,000	1,914
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,998	1,998	2,000

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 段差解消を施工した累計箇所数は昨年度実績と比べ1.7%向上している (原因) 段差解消1箇所あたりの経費が若干高くなったため当初予定を下回った
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	歩道スロープの改良を進めます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	6箇所の歩道段差を解消しました。		

道路保険加入事業

[395]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0502	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)																														
	道路(橋梁含む)、道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> 年間保険料の支払い(契約先: 全国市有物件災害共済会、幹事会社: 損保ジャパン) 道路管理損害保険料 事故の発生時の対応 現地確認、保険会社へ連絡、被害者との交渉、示談 賠償金の支払い 道路管理賠償金(過失割合は保険会社が判断) 議会への報告 <p>道路管理者の管理瑕疵による事故発生件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H17</td><td>: 1件</td> <td>H18</td><td>: 3件</td> <td>H19</td><td>: 2件</td> <td>H20</td><td>: 0件</td> <td>H21</td><td>: 0件</td> </tr> <tr> <td>H22</td><td>: 1件</td> <td>H23</td><td>: 0件</td> <td>H24</td><td>: 0件</td> <td>H25</td><td>: 2件</td> <td>H26</td><td>: 1件</td> </tr> <tr> <td>H27</td><td>: 2件</td> <td>H28</td><td>: 3件</td> <td>H29</td><td>: 0件</td> <td>H30</td><td>: 0件</td> <td>R1</td><td>: 1件</td> </tr> </table>	H17	: 1件	H18	: 3件	H19	: 2件	H20	: 0件	H21	: 0件	H22	: 1件	H23	: 0件	H24	: 0件	H25	: 2件	H26	: 1件	H27	: 2件	H28	: 3件	H29	: 0件	H30	: 0件	R1	: 1件
	H17		: 1件	H18	: 3件	H19	: 2件	H20	: 0件	H21	: 0件																					
H22	: 1件	H23	: 0件	H24	: 0件	H25	: 2件	H26	: 1件																							
H27	: 2件	H28	: 3件	H29	: 0件	H30	: 0件	R1	: 1件																							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	保険への加入により、万一の事故の際に対応ができる。																															

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	保険対象事故件数	件	0	0	0	1	
	・示談締結率(保険対応率) (示談締結件数/保険対象事故件数)	%			100	0	
成果指標							
事業費 計			456	456	475	475	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他				1	1
		オ 一般		456	456	474	474

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

道水路用地借上事業

[396]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	32-0503	実施 計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	当該道路及び水路用地の所有者	道路及び水路用地の確保のため、私有地の一部を有償で借用する。 「私有財産借受料算定基準等」により算出した借上料を土地所有者に支出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道水路用地を確保することにより、公共施設の利便を図る。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			137	135	137	137
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	137	135	137

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

生活道路改良事業

[399]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0504	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等からの苦情要望箇所及び市が改良を必要と考えた箇所の中から優先的に工事を実施する箇所を選定する。 ・現場を調査し、施工方法を検討する。 ・改良に高額な費用が必要となる場合は、別途予算要望するが、緊急性が高く、比較的 小規模な費用で実施可能なものは、当該事業にて実施する。 ・工事を設計する。 ・用地交渉、補償交渉が必要な箇所は、所有者などと交渉する。 ・所有者など関係者の理解を得た後、工事を実施する。 ・未舗装の道路に対して、要望に基づき舗装を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路・排水施設などを改良し、道路の利便性を高め、利用者が安全に安心して通行できるようになっている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	道路の改良件数	件数	19	16	15	19	
成果指標	道路の改良延長	m	320	632	300	757	
	市道の舗装整備率	%	98.2	98.2	98.2	98.2	
事業費 計			35,028	46,674	14,000	13,909	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	35,028	46,674	14,000	13,909

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)道路の改良延長については、対前年度比で19.8%向上している。 (原因)簡易的な改良が多かったため、事業費に対する改良延長が大きくなった。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	地方踏切道改良計画を策定します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	地方踏切道改良計画を策定しました。		

道路清掃事業

[400]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0505	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者・市が管理する道路	<ul style="list-style-type: none"> ・矢田川堤防道路などの路肩等の草刈委託(道路環境整備委託料)、直営 ・市民要望等により随時道路の草刈りなど直営(草等の処分は公共ゴミ処理手数料) ・市民等が清掃した側溝の汚泥の回収と処理直営、委託(側溝汚泥処理委託料) ・道路路面の清掃委託(道路清掃等委託料)、直営 ・ポケットパーク(12箇所)やシンボルロードの清掃を定期的に行う直営、委託(土木管理用地清掃等委託料) ・公共施設アダプトプログラム H30年度末現在13団体と合意 活動支援、活動状況把握、看板設置、コミュニケーションづくり ボランティア保険は市民活動課で対応 平成23年度より31-0208土木管理課管理用地管理事業を統合
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路が安全に維持管理されることにより、道路利用者が快適に通行している		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	除草清掃した道路の延長距離(委託除草延長+委託清掃延長)	km	48	46	58	89
	回収した汚泥の容量	m3	104	118	135	118
成果指標	道路清掃に関する苦情の対応率	%	100	100	100	100
事業費 計			14,301	14,680	16,434	16,263
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	14,301	14,680	16,434

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	(状況) 寄せられた苦情には対応している。 (原因) 苦情者の意見を聞き、対応内容を検討、実施しているため。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

駅通路等管理事業

[401]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0506	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	駅の利用者 市が管理する通路	<ul style="list-style-type: none"> 尾張旭駅南北線エスカレーター及びエレベーターの管理委託(尾張旭駅南北線エスカレーター保守点検委託料) 委託(尾張旭駅南北線エレベーター保守点検委託料) 借上(エレベーターカメラ借上料) 尾張旭駅前広場、南北線、トイレの清掃管理委託(尾張旭駅前広場・南北線清掃管理委託料) 印場駅前広場、南北通路、トイレの清掃管理委託(印場駅前広場・南北通路清掃管理委託料) 旭前駅前広場、トイレの清掃管理委託(旭前駅前広場清掃管理委託料) 尾張旭、印場駅の南北通路と尾張旭、旭前、印場駅トイレの光熱水費の支払い 光熱水費 尾張旭駅、印場駅の公衆電話等の電気料の徴収 尾張旭駅・印場駅電気料負担収入 印場駅南北通路壁面広告2枚の広告料の徴収 広告収入
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

通路:安全・快適に通行できている。
 広場:人・車の流れを円滑かつ快適に移動できている。また公共空間として市民に親しまれている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	維持管理(清掃)日数	日	363	363	363	363	
	駅通路に関する苦情件数	件			0	12	
指標・事業費	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		38	43	40	40
オ 一般		9,558		10,353	10,539	10,546	

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

平子線アンダーパス維持管理事業

[403]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0507	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・アンダーパスを利用する車両台数	・平子線アンダーパス保守点検委託(長期契約、平子線アンダーパス保守点検等委託料) 排水ポンプ点検(3基):年2回 ポンプ制御盤、非常用発電機、冠水表示機点検、ポンプ井内清掃:年1回 設備の遠隔監視:24hr(異常発生時にファックス、電話で市、担当者に連絡あり) ・平子線アンダーパス自家用電気工作物保守管理委託(平子線アンダーパス保守点検等委託料) 受電設備・非常用発電機点検:隔月1回 ・遠隔監視システム通信料の支払い 役務費(電信電話料) H14年設置。H16年6月に旭前城前(区)から管理移管。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
・降雨時において道路利用者が安全で円滑に通行できるようにする。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	保守点検業務の種類(ポンプ室、冠水表示機、自家発電機)	設備	3	3	3	3
	修繕等の件数	件数	1	1	0	0
成果指標	降雨時における施設の不具合(誤作動等)が起きた件数	件数	0	0	0	0
事業費 計			3,788	3,818	2,698	2,578
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,788	3,818	2,698

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	不具合の発生はないが、不具合があってはならない施設なので、引き続き維持管理を行う。
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

生活道路維持管理事業

[404]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	32-0508	実施 計画	対象
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路、橋梁	市民からの通報及び日常パトロールにより発見された生活道路、橋梁の破損箇所等に対し、適切な維持管理を行う。 ・現場調査の結果、補修方法を検討する。 ・補修が必要な舗装や側溝などの状況に応じ、補修する優先順位をつける。 ・材料を購入し、市作業員により施工する。 ・工事を発注し、施工する。 市道の街路樹の維持管理を行う。 ・高木・中木・低木の剪定・補植及び柵内の除草
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路、橋梁利用者が安心して通行できるように維持管理を行い、安全性・利便性が確保できている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動 指標	維持修繕を実施した箇所数	箇所	381	299	380	346	
	道路補修の施工件数	件	41	43	20	30	
成果 指標	道路管理に関する苦情要望対応率	%	100	100	100	100	
事業費 計			72,121	84,361	109,800	103,451	
財源内訳		ア 国					
		イ 県			18,480	12,665	
		ウ 地方債					
		エ その他				1,750	1,686
		オ 一般		72,121	84,361	89,570	89,100

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 道路管理に関する苦情要望対応率は100%を保持している。 (原因) 小規模道路補修工事や道路維持管理委託などにより対応したため。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	旭台東栄1号線の街路樹の更新工事に着手します。 更新工事の実施に当たっては、地域住民と連携しながら進めます。		
実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	旭台東栄1号線の街路樹の更新工事に着手しました。 更新工事の実施に当たっては、地域住民と連携を密にしながら進めました。		

道路橋梁管理庶務事務

[416]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0509	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路橋梁の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 道路橋梁の維持管理に必要な庶務事務を円滑に行う。 現場復旧などに必要な消耗品の購入に伴う支払事務を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道路橋梁が不具合なく利用可能な状態を維持する。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			349	612	350	349
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	349	612	350

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

横断歩道橋補修事業

[993]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0510	実施計画	対象
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市が管理している横断歩道橋 横断歩道通行者	<ul style="list-style-type: none"> 横断歩道橋の保全を図るため、点検を実施する。 補修工事の設計を行い、補修工事を実施する。 塗装の塗替え周期は15年とし、塗装後15年以上経過したものを補修(塗装塗替え)対象とする。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H25: 東栄北歩道橋 H26: 横断歩道橋定期点検委託 H27: はなの木歩道橋 H31: 横断歩道橋定期点検委託 H32: 東栄南歩道橋 H35: 甚田歩道橋 H37: 川南歩道橋
	利用者が安心して通行できるよう点検・補修を行い、横断歩道橋が適切に維持管理されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	補修した横断歩道橋の数	橋	0	0	0	0
成果指標	補修が必要な横断歩道橋の残数	橋	0	0	0	0
事業費 計					3,200	3,135
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				3,200

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 補修が必要な横断歩道橋の残数は0橋を保持している。 (原因) 定期点検を5年に一度行い、計画的に補修を行ったため。
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	利用者が安心して通行することができるよう、横断歩道橋の点検、補修を計画的に実施します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
市が管理する5つ全ての横断歩道橋の点検を実施し、補修計画を策定しました。			

街区基準点管理事業

[1121]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0511	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	DID地区内の街区基準点(人口集中地区のうち、区画整理等による公図が整備された区域を除く)	尾張旭市街区基準点管理保全要綱に基づき、街区基準点の閲覧、使用承認及び道路の工事に伴う街区基準点の保全に必要な手続き等の事務を実施。 時間経過とともに保全対象の増加が見込まれるが、工事等により機能に支障をきたさないよう、状況を把握し適正に管理する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【街区三角点 53点・街区多角点 140点】 ・窓口での問い合わせの対応(必要に応じ、点の記・成果表の発行:1点10円) ・基準点使用承認申請書、基準点使用報告書等の各種報告書の受理、審査 ・報告により紛失や機能に支障をきたした基準点(三角点・多角点)の復旧
	街区基準点が適切に管理され、常に利用できる状態になっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	街区基準点の復元及び点検件数	件数	1	1	1	1	
	適切な管理状態の街区基準点数の割合	%			100	100	
成果指標・事業費	事業費 計		432	92	100	92	
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		432	92	100	92

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

橋梁長寿命化修繕事業

[1157]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0512	実施計画	対象
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	管理橋梁 橋梁利用者(通行者)	H21 橋梁台帳作成・全橋梁の一次スクリーニング H22 橋梁詳細点検(1回目) H23 橋梁長寿命化修繕計画策定(第1期) H24 橋梁補修工事(稲葉橋) H26 橋梁補修工事(宮下橋) 管理橋梁数の見直し(85 75橋) H27 橋梁定期点検 橋梁補修工事(東名印場橋) H28 橋梁詳細設計委託(宮下橋) H29 橋梁補修工事(宮下橋)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H29・30橋梁詳細点検委託(尾張旭駅南北連絡橋) H30 橋梁詳細設計委託(稲葉橋) H31 橋梁補修工事(稲葉橋) H32 橋梁定期点検 橋梁詳細設計委託(三郷橋) 橋梁長寿命化修繕計画の策定 橋梁補修工事(三郷橋)
	橋梁利用者が安心して通行できるよう計画的な点検・修繕を行い、安全性・信頼性が確保できている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	点検した橋梁数	橋	35	35	35	35
成果指標	補修した橋梁の数	橋	1	4	1	1
事業費 計			31,289	15,889	50,000	39,567
指標・事業費	財源内訳	ア 国	13,710	4,400	15,033	15,033
		イ 県				
		ウ 地方債	14,400			
		エ その他			20,000	20,000
		オ 一般	3,179	11,489	14,967	4,534

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 補修した橋梁の数は対前年度で75.0%低下している。</p> <p>(原因) H30は他事業の河川改修工事にて、多くの橋梁を改修したため。</p>
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	稲葉橋の橋梁補修工事を実施します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
稲葉橋の橋梁補修工事を実施しました。			

狭あい道路拡幅整備事業

[1254]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0513	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	生活道路の整備と維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	狭あい道路、狭あい道路に隣接する敷地で建築等を行う建築主等	市が管理する幅員4m未満の道路について、建築等に併い道路後退用地の取得を促し、拡幅整備を行い、安全で住みよいまちづくりを進めていく。 (事業内容) ・寄附又は土地使用承諾等により取得 ・後退用地の分筆、所有権移転登記 ・後退用地の整備 ・角地・隅切り用地の奨励金を交付
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
対象道路幅員 4 m以上が確保されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	狭あい道路解消延長の累計 (km)	km	0.6	0.8	0.9	1.1
	用地取得件数	件	4	5	10	6
成果指標	狭あい道路解消率	%	1.2	1.6	1.8	2.2
事業費 計			1,874	4,014	4,000	3,984
財源内訳		ア 国	819	1,697	2,000	1,973
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	1,055	2,317	2,000	2,011

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上 (最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 「狭あい道路解消率」はH30実績と比較し、0.6ポイント増加しており、R元年計画を達成している。 (原因) H27の要綱制定後、境界確認や開発申請時等、積極的に事業の周知を行っていることが一つの原因と思われる。
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	32-0901	実施計画	
施策	02	快適に移動できる交通基盤の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市が保有する街路用地等 愛知県街路事業促進協議会 東海環状地域整備推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 街路用地等で定期的に草刈等を行う。 街路用地等内の杭柵等の新設、維持補修工事を行う。 街路用地等の管理について要望・苦情があった場合は速やかに対応する。 各協議会に会費等を支払 ・8月 愛知県街路事業促進協議会会費支払 ・2月 東海環状地域整備推進協議会分担金支払 各協議会からの情報提供及び情報交換の実施 ・各種会議及び研修会への出席、刊行物の收受
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

街路用地等が適正に維持管理されている。
協議会への負担金を支出することにより、本市の発展に寄与する情報提供を受けている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	草刈、工事施工数	件	29	25	20	32
	要望・苦情対応件数	件	7	2	6	3
成果指標	要望・苦情解決率	%	100	100	100	100
事業費 計			1,992	1,596	1,784	1,721
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		1,992	1,596	1,784

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>付近の住民より求められる雑草の草刈り、樹木の剪定、安全面での管理が問題なく行われている。</p>
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-